

麻酔科 Anesthesiology

1. スタッフ構成

○藤谷 太郎(副院長)

1986年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、集中治療、ペインクリニック

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定医・指導医、日本区域麻酔学会認定医・評議員、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○奥田 康之(入院サポートセンター長)

1990年聖マリアンナ医科大学卒

専門分野:麻酔一般、集中治療

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定医・指導医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○中西 和雄(主任部長)

1991年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、産科麻酔

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○矢野 雅起(部長、集中治療センター長、集中治療室長)

1994年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、集中治療

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、日本集中治療医学会集中治療専門医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○入澤 友美(部長)

1995年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、区域麻酔

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、日本区域麻酔学会認定医・指導医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○程野 茂樹(部長)

2000年長崎大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔、災害医療(DMAT)

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、日本医師会認定産業医、厚生労働省日本DMAT統括DMAT登録者、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○菊池 幸太郎(部長)

2005年高知大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○上松 敬吾(部長)

2009年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、集中治療、救急医療

資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○高柳 友貴(医長)

2010年徳島大学医学部卒

専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔

資格:日本麻酔科学会麻酔科専門医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○佐々木 知恵(医長)

2010年高知大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

資格:日本麻酔科学会麻酔科専門医、厚生労働省麻酔科標榜医、厚生労働省臨床研修指導医

○相原 法昌(医長)

2013年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

資格:日本外科学会外科専門医、厚生労働省麻酔科標榜医

○中西 智紀(専攻医)

2020年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

○池田 彩夏(専攻医)

2020年愛媛大学医学部卒

専門分野:麻酔一般

○清水 智恵子(診療委託)

○鍋田 多恵子(診療委託)

○原田 知実(診療委託)

○越智 貴紀(診療委託)

○高石 和(診療委託)

○土手 健太郎(診療委託)

○原田 雅光(診療委託)

○品川 育代(診療委託)

2. 実績

2022年の総手術件数は7,177件でした。麻酔科管理の手術件数は4,770件で、このうち1,061件(22.2%)が緊急手術でした。

■ 麻酔科管理手術件数

(1) 麻酔法別統計

麻酔法	2018	2019	2020	2021	2022
全身麻酔(吸入)	1,948	1,733	2,679	2,592	2,477
全身麻酔(TIVA)	552	558	1,214	1,314	1,377
全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝	1,866	1,905	445	284	316
全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝	448	676	282	189	221
脊椎+硬膜外麻酔	7	4	4	4	2
硬膜外麻酔	2	1	2	3	3
脊椎麻酔	375	353	317	345	329

伝達麻酔	7	19	28	12	6
その他	29	34	70	46	39
合計	5,234	5,283	5,041	4,789	4,770

※2020年から日本麻酔科学会の麻酔法別統計において、伝達麻酔の定義が変更されたため、2020年以降の全身麻酔区分別の症例数が2019年以前と異なっています。

(2) ASA 分類別統計

ASA分類	2018	2019	2020	2021	2022
1	815	820	757	609	468
2	2,234	2,295	2,200	2,055	2,144
3	1,134	1,111	1,062	1,072	1,069
4	62	77	66	48	27
5	0	0	0	2	1
6	0	1	0	0	0
1E	193	170	160	162	97
2E	383	399	399	440	518
3E	313	290	264	291	335
4E	72	86	84	65	86
5E	28	34	49	45	25
6E	0	0	0	0	0

(3) 手術部位別統計

手術部位	2018	2019	2020	2021	2022
脳神経・脳血管	254	224	230	227	263
胸腔・縦隔	201	227	189	166	163
心臓・血管	482	452	378	467	444
胸腔・腹部	18	5	15	3	12
上腹部内臓	930	916	837	728	732
下腹部内臓	1,058	1,076	1,085	1,019	993
帝王切開	349	318	289	327	325
頭頸部・咽頭部	724	724	640	554	561
胸壁・腹壁・会陰	323	363	426	362	366
脊椎	278	305	358	342	330
股関節・四肢	582	640	551	551	552
検査	1	1	3	1	4
その他	34	32	40	42	25

(4) 年齢別統計

年齢	2018	2019	2020	2021	2022
～1か月	16	15	20	11	19
～12か月	48	54	36	45	41
～5歳	239	233	209	148	124
～18歳	240	224	239	220	203
～65歳	2,250	2,294	2,664	2,098	2,075
～85歳	2,181	2,196	1,626	2,032	2,012
86歳～	260	267	247	235	296

3. 2023 年度目標

(1) 安全で良質な周術期の医療体制の確立

- ① 入院サポートセンターや院内の各部署と連携を図り、麻酔科術前診察を充実させて周術期の安全性の向上を図ります。

す。

- ② 全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔、や硬膜外麻酔法、各種の神経ブロック、生体情報モニタリング、エコーガイド下血管穿刺法、困難気道時の気道確保法等をガイドラインに沿った標準的な方法で実施し、安全な麻酔の提供に努めます。
 - ③ 末梢神経ブロックや麻薬の持続鎮痛などを用いた多角的で良質な術後の痛みの緩和を提供します。
 - ④ 術後の嘔気嘔吐対策を積極的に行います。
 - ⑤ 集中治療センターや各診療科と連携して、手術症例の早期回復プログラムを促進し、早期の離床を図ります。
 - ⑥ 重症症例の早期回復を目標に、集中治療センターと連携して人工呼吸、体外循環、血液浄化等の高度医療を提供します。
- (2) 業務改善
- ① 働き方改革で求められている基準を遵守します。
 - ② 麻酔科の限られた人的資源を有効に活用して、必要な手術を適切に受けることができる、また、緊急手術への柔軟な対応ができる体制を維持します。
- (3) 感染症への対策
- ① COVID-19 や新型インフルエンザを含め、感染症例が必要な手術を安全に受けることができるように、引き続き環境を整え、スタッフ教育を行います。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 土手健太郎. 1830年前後の老年麻酔…愛媛における華岡流全身麻酔下手術について. 第34回日本老年麻酔学会. Web開催 (2022.2.11-12)
2. 上松敬吾, 牧野淳(墨東病院), 藤谷茂樹(聖マリアンナ医科大学病院). 新型コロナウイルス感染症重症患者の診療実態および隔離解除に関するアンケート調査. 第49回日本集中治療医学会学術集会. Web開催 (2022.3.18-20)
3. 土手健太郎, 高石和, 藤谷太郎, 矢野雅起, 中西和雄. 華岡青洲と弟子たち 業績と教育について…青洲と門人たちが成し遂げた世界的な業績と青洲の行った教育について. 第17回日本医学シミュレーション学会学術集会. 東京・Web開催 (2022.3.20)
4. 入澤友美, 武田泰子, 相原法昌, 藤谷太郎. 股関節人工骨頭置換術における腸骨筋膜下ブロックの術後鎮痛に対する効果. 日本区域麻酔学会第9回学術集会. 沖縄・Web開催 (2022.4.15-16)
5. 武田泰子, 相原法昌, 入澤友美, 藤谷太郎. 治療に難渋した慢性会陰部痛に対し、最終的に超音波ガイド下S4神経根ブロックが走行した症例. 日本区域麻酔学会第9回学術集会. 沖縄・Web開催 (2022.4.15-16)
6. 土手健太郎, 藤谷太郎, 矢野雅起, 高石和. 全国の華岡流全身麻酔下の手術件数. 第123回日本医史学会総会・学術大会. 松山 (2022.5.14-15)
7. 五藤凌志, 中西和雄, 菊池由莉恵, 武内三希子, 品川育代, 藤谷太郎. 術前心房細動併存症例における術後急性動脈血栓症の検討. 日本麻酔科学会第69回学術集会. 神戸・Web開催 (2022.6.16-18)
8. 入澤友美, 藤谷太郎, 田中聖也, 相原法昌, 武田泰子. 腹腔鏡下子宮全摘術における超音波ガイド下神経ブロックの方法の違いが術後鎮痛効果にもたらす影響の検討. 日本麻酔科学会第69回学術集会. 神戸・Web開催 (2022.6.16-18)
9. 上松敬吾, 矢野雅起, 藤谷太郎, 中西和雄, 入澤友美, 品川育代, 高柳友貴, 相原法昌. 術中ペニシリン G 急速大量投与が麻酔覚醒遅延の原因として考えられた1症例. 日本集中治療医学会第6回中国・四国支部学術集会. 岡山 (2022.7.30)
10. 相原法昌, 上松敬吾, 矢野雅起, 土手健太郎, 田中聖也, 藤谷太郎. C型食道閉鎖症手術における術後超音波検査と気管支鏡による気道食道癒着同定の有用性. 日本麻酔科学会第59回中国四国支部学術集会. Web開催 (2022.9.2-10.3)
11. 菊池由莉恵, 品川育代, 奥田康之, 武田泰子, 佐々木知恵, 藤谷太郎.

小児腹部消化管手術において、多角的な術後の嘔気嘔吐予防策が有効だった2症例. 日本麻酔科学会第59回中国四国支部学術集会. Web開催 (2022.9.2-10.3)

12. 五藤凌志、中西和雄、入澤友美、高柳友貴、程野茂樹、藤谷太郎. 呼吸器外科手術における一側肺換気中に閉塞性ショックを認めた1例. 日本麻酔科学会第59回中国四国支部学術集会. Web開催 (2022.9.2-10.3)
13. 品川育代、中西和雄. 先天性食道狭窄疑いで内視鏡的食道拡張症が繰り返され、後日、食道アカラシアと診断された1歳児の麻酔経験. 日本小児麻酔学会第27回大会. 岡山・Web開催 (2022.10.8-9)
14. 土手健太郎、矢野雅起、中西和雄、藤谷太郎、牧野洋(京都府立医科大学). 幕末・明治の麻酔科学史概説. 日本臨床麻酔学会第42回大会. 京都・Web開催 (2022.11.11-12)
15. 牧野洋(京都府立医科大学)、土手健太郎. 幕末・明治期に外国人医師が日本の医療に与えた影響. 日本臨床麻酔学会第42回大会. 京都・Web開催 (2022.11.11-12)
16. 武田泰子、藤谷太郎、五藤凌志、品川育代、入澤友美、中西和雄. 持続胸部傍脊椎ブロックにおけるCatheter-Over-Needle systemの使用経験. 日本臨床麻酔学会第42回大会. 京都・Web開催 (2022.11.11-12)
17. 入澤友美、藤谷太郎、武田泰子、品川育代、五藤凌志、中西和雄. 人工関節置換術におけるcatheter-over-needleを使用した鼠径上アプローチ持続腸腰筋膜下ブロックの有用性. 日本臨床麻酔学会第42回大会. 京都・Web開催 (2022.11.11-12)

(2) 論文・著書

1. 土手健太郎、牧野洋(浜松医科大学). 麻酔博物館改修事業に携わって. 日本医史雑誌. 町泉寿郎. 日本医史学会. 140 (2022.6)